

2 環境研究部

【目的】

研究テーマや研究仮説に基づいて、外国語の学習環境に関する以下の事を行う。

- ・授業に必要な教材を作成する（各学年と連携）
- ・国際理解ルームの充実（外国語、国際理解の視点も含めて）
- ・外国語に慣れ親しむ校内環境の充実（外国語による放送、あいさつ、他）

【取り組み】

（研究推進委員会より）

活動内容案

- ・階段、踊り場、図書室前の掲示物
- ・デジタル教科書の使用環境の整備
- ・英語を活用する場づくり
（例）英語デー 今月の詩を英語にする 英語の曲の放送 外国語による放送 など
- ・教材作り（授業研究部と連携）

階段掲示物 ○東階段は英語の掲示物に変える。

※書体：UD デジタル教科書体 NK（太字の方）○**g** × g

※単語に下線を青でひく。

○既存の掲示物は西階段に張り替えまたは保管。

（1）昨年度から行っていること

- ・児童による外国語での放送、英語の曲の放送。（登下校時、給食中）
- ・音楽朝会に英語の曲を歌う。
- ・図書室に英語の絵本を常置。

（2）今年度から始めたこと、作成した物

- ・次ページ参照

【成果と課題】

○成果

- ・英語があることが当たり前になり、意欲的に活動し、積極的に使えるようになってきた。
- ・他の教科とも連携し、外国の文化を楽しく学習できた。
- ・英語を覚えるのが目的ではなく、コミュニケーション手段の一つとして活動することができた。

△課題

- ・学習がより深い学びにつながるよう、ふり返りの視点を明確にし、毎時間行っていく。
- ・授業中に使える **Classroom English** を示し、より積極的なコミュニケーションができるようにしていく。
- ・外国語活動完全実施に向け、担任が T1 として積極的に進められるようにする。

環境研究部 今年度の取り組み

外国語学習を意欲的に、楽しくできるようにするために
 国際理解ルームに行きたいな、この教室は何を勉強するのだろう、と思えるよ
 うな環境を整えた。6年生が総合的な学習の時間に作成した物も展示した。



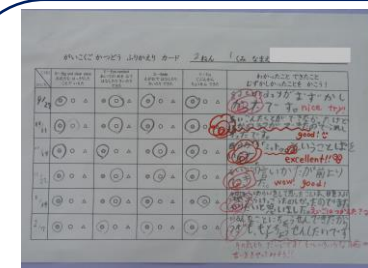
学習過程を統一した授業の実現のために
 授業の流れ、天気や曜日、BESTなどを表示し、
 いつでも確認できるようにした。



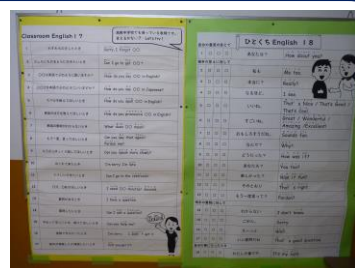
曜日・天気表示は、各クラス分用意し、教室黒板に掲示することで、常に目に触れるようにした。



落ち着いて学習するために
 足をつけて、よい姿勢で学習できるようにした。



効果的なふり返しをするために
 学年に応じて、BESTを意識して行った。ふり返しカードに「ほめほめ English」「ひとくち English」を載せ、使いたい時にいつでも見られるようにした。



日常的に外国語に触れるために
 階段や廊下に、数字や曜日、簡単な褒める言葉などを掲示した。

